

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）
（528）

2. 日時：令和5年5月30日 14時00分～14時50分

3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

宮本上席安全審査官、秋本主任安全審査官※、大塚安全審査官、

小野安全審査官※、平本安全審査専門職

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）、他4名

原子力事業統括部 部長（安全技術担当）※、他6名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

（1）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）第14条 全交流動力電源喪失対策設備（DB14 r. 1.0）

（2）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）比較表 第14条 全交流動力電源喪失対策設備（DB14-9 r. 9.0）

（3）泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 第14条 全交流動力電源喪失対策設備

（4）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第14条 全交流動力電源喪失対策設備）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	規制庁オオツカです。それでは北海道電力泊発電所、3号炉の設置変更許可申請の、
0:00:13	十四条SBOに係るヒアリングを開始します。
0:00:17	それではまず事業者側から説明をお願いします。
0:00:21	はい。北海道電力堤です。よろしくお願いします。
0:00:25	十四条ですけども、前回のヒアリングが2月16日に行っておりまして、それ以降にですね、他条文の反映等を行っておりますので、
0:00:35	その変更内容について、主なものをご説明させていただきます。
0:00:40	まとめ資料につきましては、3月末に一括提出をしております、それと今回の提出分と、2回変更してございます。3月末提出分については本来、
0:00:53	もう少し早くご説明するべきだったんですけども、申し訳ございません今回3月末の分と今回分と、江藤2件、2回の変更を含めてご説明させていただきます。
0:01:05	ご説明する内容としましては、大きく2件ございまして、
0:01:09	まず1件目ですけども、
0:01:12	SBOが起きたときに、代替交流電源が給電されるまでの時間ですね、こちら、
0:01:19	を満足するための蓄電池容量を持たせるというのが10条10条の要求となっております、この給電時間がですね、技能書きの
0:01:29	技術的能力1.14の方の記載に合わせて修正を行っておりますので、
0:01:33	その内容についてご説明いたします。
0:01:38	記載適正化箇所リストとしましては、まず3月にご提出した。
0:01:43	リストのうちですね、ナンバー3のところですね、
0:01:48	SBO発生
0:01:50	から、
0:01:51	重大事故に対処するために必要な電力の供給が、
0:01:55	常設代替交流電源設備から開始されるまでの時間、
0:01:59	について、技術的能力1.1の記載を踏まえて、もともと25分と記載していたものを55分に変更してございます。
0:02:11	同じく3月のリストで言いますと、
0:02:15	29、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:19	3月、3月末一括提出。
0:02:23	失礼。
0:02:30	そうですね落ちたもので、
0:02:33	パススルー言わない。
0:02:35	はい。
0:02:37	3月末リストで言いますと29番のところにですね。
0:02:41	その常設代替交流電源設備のほかに、あ、そうですね。
0:02:52	わかりました。
0:02:55	そうですね。変更内容でという、わかりました。
0:03:02	はい。
0:03:03	規制庁ミラウ
0:03:06	直したところを比較表の資料の2-2の資料の中をページ数を言って説明していただければと思いますお願いします。
0:03:18	はい、北海道電力シミズかしこまりました。
0:03:21	それでは比較比較表のほうを用いてご説明させていただきます。
0:03:25	まず、比較表、取りまとめた資料-1ページをご覧ください。
0:03:37	はい。
0:03:38	こちらで項目番号1-2の、b項、3ポツ目になります。
0:03:45	こちらの蓄電池からの供給時間について記載してございますが、前半部分につきましては、前回ヒアリングまでにご説明した内容でして、
0:03:55	全交流で動力電源喪失時に、
0:03:58	10台、ごめんなさい常設代替交流電源設備からの電力が供給電力供給が開始されるものが25分としてまして、それに対する十分長い時間として、
0:04:10	1時間としていたものを、8時間というふうに変更してございます。こちらについては変更、ご説明済みの内容です。
0:04:18	なお以降が、前回ヒアリングからの変更点でして、
0:04:23	技術的能力1.14の記載を踏まえまして、この代替非常用発電機からの電力供給が開始される時間、
0:04:31	25分から55分に見直しをしております。
0:04:35	ただし先ほど申しました蓄電池の供給時間ですね、十分に長い時間としての8時間というものには変更はございません。
0:04:46	具体的な記載箇所としましては、
0:04:49	1で挙げますと、比較表14-6ページをご覧ください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:58	上のパラグラフ、1.2項、適合のための基本方針で、赤字で記載している箇所ですけれども、約55分を包絡した8時間。
0:05:09	こちらをですね蓄電池の供給時間というふうに変更してございます。
0:05:15	もう少し詳しい内容をご説明させていただきます。四角表の14-75ページ。
0:05:22	ご覧ください。
0:05:33	こちらの別紙6としまして、常設代替交流電源設備から、電源供給を開始する時間を記載してございます。
0:05:41	こちらのタイムチャートをつけておりますけれども、こちらをですね技術的能力1.1の変更を反映いたしまして、変更してございます。
0:05:51	内容としましては、技術的能力1.14側でもBWRに記載を合わせるという、
0:05:59	変更を行っております、
0:06:04	非常用低圧母線ですねコントロールセンターを受電するまでの時間を記載するように変更しております。
0:06:12	それに合わせて、まずB系側の
0:06:16	受電を優先して、その後A系を充填するという形に記載を変更しております、
0:06:22	時間としましてはもともと15分と言っていたものを、45分に変更しております。これにですね、
0:06:31	この45分に、状況判断に要する時間として10分を加えた55分というのを、14条では記載してございます。
0:06:45	次いで14-76ページ。
0:06:48	ご覧ください。
0:06:58	こちらはですね今回のご提出した資料で黄色くしている箇所ですけれども、
0:07:04	アノ君。
0:07:06	代替非常用発電機の充電時間ですね、想定時間としましては45分になりますが訓練実績時間を今回ご提出した資料で反映させていただきます、
0:07:17	訓練実績時間については34分となっております。
0:07:26	1ページめくっていただきまして14-77ページをご覧ください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:34	こちらの別紙7としまして、この可搬型代替交流電源設備の給電時間を記載してございます。
0:07:41	まず常設代替交流電源設備からの給電が失敗した場合には、この可搬型代替交流電源設備による給電を行いますが、その給電時間についても変更となっております、
0:07:54	常設代替交流電源設備と可搬型代替交流電源設備、こちらの給電時間合わせた時間ですね、そちらが
0:08:03	前回ヒアリング時点では合計で2時間40分とってございましたが、今回は4時間55分というふうに変更しております。
0:08:13	また訓練実績時間につきましても、前回1時間58分とっていたものを3時間56分。
0:08:20	というふうに変更してございます。
0:08:24	今回十四条としましては、蓄電池の容量ですね、8時間もたせるといったものについて、この4時間55分を考慮しても、十分持つことができるということを記載してございます。
0:08:42	まずご説明内容の1件目につきましては、以上となりまして、もう1件、ご説明した内容としましては、
0:08:49	蓄電池容量計算ですね、こちらをですね地下水排水設備等の設計進捗等を踏まえて、最新化してございます。
0:08:59	比較表の14-54ページをご覧ください。
0:09:15	はい。
0:09:16	こちらに表がございまして、蓄電池の負荷、
0:09:21	の一覧表を記載してございます。
0:09:23	こちらの中の、各負荷の値ですね、こちらを
0:09:29	各設備の設計進捗を踏まえた最新の値に変更しまして、容量計算を最新化しております。
0:09:36	推計についても同様に変更してございます。
0:09:39	最終的なまとめとしましては、14の65ページ。
0:09:45	をご覧ください。
0:09:58	はい。ちょっと、こちらも字が小さくて申し訳ございません表の中にですね、
0:10:02	容量判定ということで、十四条としましては8時間もたせるといのが要求でして、8時間の必要容量側が1395アンペアアワー。
0:10:14	B側が1761アンペアアワーとなっております、蓄電池の低角である2400アンペアアワー。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:22	満足するという結果になってございます。
0:10:27	ご説明は以上です。
0:10:47	はい。規制庁大塚です。ご説明ありがとうございます。それでは確認に入りたいと思います。
0:10:54	小野さん、何かコメント等ありますでしょうか。
0:10:59	規制庁のです。説明ありがとうございます。
0:11:03	1点目、2、2項説明あったと思うんですけど1点目については、瀬川でちょっと時間変わったけど基準、十四条の基準適合上、
0:11:15	には問題ないっていうことで理解したんですけども2、2点目でちょっと地下水位低下設備のところ、
0:11:23	何か14の57ページでしたっけ、あの黄色ハッチングついてて、スーツ変わったってというのは、ごめんなさいこれ何で変わったんでしたっけ地下水位低下設備。
0:11:33	の関係で、
0:11:36	はい。
0:11:36	北海道電力堤です。
0:11:38	こちらですね前回のヒアリングまでにもご説明させていただいてる、容量計算というのは、いろいろ説明させていただいてるんですけども、その後ですね、各設備側で設計進捗、
0:11:52	よって、負荷として使う電流値ですね、こちらが変更となっております、それを最新化したものでございます。今回の
0:12:03	今回提出した資料で地下水排水設備がですね、
0:12:08	黄色くハッチングになってるんですけども、こちらにつきましては、もともとはですね、もともとの設計では、このこの表の一番上にあります直流分電盤ですね。
0:12:20	こちらの中に地下水排水ってのは含まれているという設計だったんですけども、その分電盤から給電するのではなくて、個別のコントロールセンターから給電するというふうに、
0:12:31	設計が変わっております。それを反映したものでして、リストとして、地下水排水設備は別だし。
0:12:39	に、
0:12:40	変更していると、そういった内容でございます。以上です。
0:12:49	規制庁の伊佐の説明は理解しました。あれ、
0:12:55	前回までの説明、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:58	から、今の地下水位低下設備のやつの何かこの分電盤から分離しないといけなかった理由って何かあるんですけど。からでしたっけ。
0:13:13	はい。
0:13:14	北海道電力の堤です。
0:13:16	ですね地下水排水設備側のもともとの想定としては、
0:13:21	既設盤ですね、この機能を持った既設盤を、
0:13:28	立ち行かせると、
0:13:31	いうもともと想定をしておったんですけども、
0:13:35	地下水排水設備側の信頼性を上げるためにですね、既設盤を多重化するのではなくて、
0:13:43	新たに新設盤を二つつけ多重化した新設分をつけると。
0:13:48	いうふうに設計が変わっております。
0:13:50	ですのでもともとあった分電盤、
0:13:54	本木鉄馬ってのはその分連番の中に入ってたんですけども、
0:13:57	そうではなくて、
0:13:59	個別にコントロールセンターから給電すると、新設盤を給電するというふうに変更したものでございます。
0:14:06	以上です。
0:14:09	規制庁小野です。わかりました。とりあえず私からの質問は以上です。
0:14:20	規制庁宮です。せっかく来ていただいたのでちょっと詳しく確認させてください。ちょっと字が小さくて、こっちのまとめ資料の方の、
0:14:28	ところで、確認なんですけど、十四条の65っていうのが多分、
0:14:34	今日、追加でつけていただいた資料だという認識です。で、まず、
0:14:41	これS E部絡むので、一応確認なんですけれど、外部電源がそいつした場合に、この代替S Aの電源というのは、非常にアノつ。
0:14:52	起動方式というのは、オートピックアップなのかそれとも中央制御室の運転員が永久にスイッチをひねるのかどちらでしょう。
0:15:03	はい。北海道電力堤です。こちらの代替非常用発電機につきましては、運転員が起動操作を行うものとなっております。
0:15:12	はい。それで今主資料で55分かかりますよっていうふうになっていると思うんですよ。で、このちょっと資料で教えていただきました

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	いのは、この 55 ページ、6、60、14 条の 65 がその詳しいこと書いてあると思うんだけど、
0:15:29	ここの、
0:15:33	代替非常用発電機メタクラ%コントロールセンターBK給電開始が 15 本。
0:15:39	冷系給電開始が 40 分。
0:15:42	ていうことは、
0:15:44	後ろを確かとか系統図が書いてあったんだけど、全体系と、
0:16:11	14-70 ですかちょっと、
0:16:18	そうですね 70 ページから書いてあって、
0:16:24	これじゃ、
0:16:37	そうですね 14 条の 68 に書いてあってこれ可搬型のあれなんだけど、
0:16:43	これ左側が A 系で、ブルーの右側が B 系と、
0:16:48	これをだからこの
0:16:51	メタクラパワーコントロールセンターが、左側が 10A と B 系なんで右側の緑が 15 本で、
0:16:59	やりますと、A 系の左側が 45 分チハラ 40 分でやりますと。
0:17:05	これは B 機を優先させてる。
0:17:08	理由って何。要は B 系に S A 関係が付き繋がってるから B 系を優先させるということですか。
0:17:15	はい。北海道電力の堤です。おっしゃる通りでございまして、
0:17:19	SBO が起きたときに、B 系にぶら下がっております B のアニュラス空気浄化ファン、こちらを速やかに起動する必要がございまして、
0:17:29	B 系側を優先して受電するという手順にしております。
0:17:42	ここの流れという紙では
0:17:46	泊の場合は代替発電機、代替非常用発電機を S A 電源が起動して、それぞれの系統の系統、段差毎の遮断機を入れていく作業があると。
0:18:01	いので、それぞれ A 系は 15 分引き B 系は 15 分 40 分というふうにかかっている、
0:18:10	先行を例えば女川の児童ピックアップみたいな形で 15 分でできるようなものではなくて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:16	泊の場合は、もう一つ一つステップごとにやらないといけないということなので55分と。
0:18:23	いう話で理解していいですかね。
0:18:27	北海道電力堤です。はい、ご認識の通りです。
0:18:31	で、
0:18:38	秋野さんどうぞはい。
0:18:44	すいません秋本ですけど、今の宮本さんと同じ質問に近かったんですけど、何ていうんでしょう。55分。
0:18:54	いうところが、
0:18:57	うん。応答比べても遜色ないのかっていうところをちょっと聞いたかったんですけど。
0:19:03	今ちょっと比較表を見てると、
0:19:06	女川15で多いが、
0:19:09	あれ。
0:19:09	30でしたっけ。
0:19:12	伊奈。
0:19:14	得るんで、先行電力を、
0:19:18	面白くないっていえるかどうかはちょっと確認したかったんですけど。
0:19:26	先行実績の実績に比べて55分というのが、
0:19:31	早いのが遅いのが欲しいと思います。
0:19:36	北海道電カッツミで少々お待ちください。
0:20:58	向こうが昨日は出てきた。
0:21:01	すいません発電所側で、技能で出席いただいている方、ご存知でしたらちょっとフォローいただけますでしょうか。
0:21:12	ちょっと質問しとしましては当社の代替非常用発電機55分、実際、ページは45分ですけども、こちらが他の他社と比べて、
0:21:24	遜色ない時間であるのかっていうところをですね、
0:21:27	確認したいんですけども。
0:21:33	はい。
0:21:34	北海道電力市野関です。
0:21:37	質問のあった件につきましてご回答いたします。
0:21:41	島根2号炉3になります、島根2号炉さんも、大方母線ずつ受電しております、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:49	メタクラD母線へ1号線目の受電時間が40分以内に完了しております、2母線目のムタ暮らし母線に関しまして、こちらは1時間10分となっております、
0:22:04	同等、泊野地展示会に関しては同等以上のものとなっております。以上です。
0:22:16	院長。
0:22:17	わかりました。
0:22:20	はい、ありがとうございます。
0:22:24	ついでになんですけど14条の60条の65ページの災害対策要員のA Bってこれ、何をやってるんですか、企画にさせてもらっていいですか。
0:22:45	すいません
0:22:48	発電所からご回答いただけますでしょうか。
0:22:56	北海道電力市野関です。災害対策要員に関しましては、
0:23:02	電源関係の受電準備を実施しております、コントロールセンターの
0:23:09	必要な負荷に関しましてコントロールセンターの切り操作を実施しております。切り離し操作を実施しております。
0:23:18	以上です。
0:23:19	はい。
0:23:20	ちょっと朝ね。
0:23:25	私も電源それほど詳しくないんで、
0:23:36	メタクラ、
0:23:38	いやちょっと私聞きたかったのはこの一番下上に書いてあるメタクラ%コントロールだ、給電開始。
0:23:44	15分。
0:23:47	15分からと。
0:23:49	次駅が40分からと。
0:23:52	なっていて、
0:23:54	災害対策要員は、
0:23:58	メタクラB受電開始。
0:24:02	準備メタクラA系、受電準備って書いてあってこれが、
0:24:09	そごがあるように見えるんですけど上の作業は10点。
0:24:14	9電の、
0:24:15	受電操作をやってるんだけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:18	下は、これ何をやる、受電操作の、
0:24:22	この数、例えばですけど、Bの人が、
0:24:27	メタクラVの受電操作っていうのを、
0:24:31	15分後ぐらいに開始するんだけど、これと災害対策ABの人一緒の作業をやってるんですよこれ。
0:24:48	釜谷先生から回答いただけますでしょうか。
0:25:01	北海道円力一関です。
0:25:04	運転員。
0:25:09	デービーの操作に関しては、非常用高圧母線のメタクラ遮断器を切り操作を実施していきまして、災害対策要員補佐を実施して、
0:25:22	他の操作にABの操作に関しましては、
0:25:25	いつコントロールせ、BIIの原子炉コントロールセンターの必要な負荷の切り離し操作を実施しております。
0:25:32	以上です。
0:25:36	すいません北海道電力石川ですけども今のね、市野関さんの説明をしてる間にちょっと通信状態がかなり悪くなったんですけども、もう1回説明して欲しいんですがその前に、ご質問の趣旨なんですけれども、
0:25:49	ページ数が、十四条の65ページ目のタイムチャートありますよね。その表の上の方の運転のところを見ると、
0:25:59	メタクラB系受電準備って書いてありますと、その方や、下の方の災害対策要員を見るとメタクラB系受電準備ってやっぱり同じこと書いてあるんですけども、
0:26:11	この上の運転への受電準備と、下の災害対策要員の受電準備っていうのは、違う、別なことやってるんですかっていうご質問が一つ。これは一関さんのさっきの説明からすると、上は、
0:26:27	重点準備として、そこがちょっと聞こえにくかったんですけど投入の準備か何かしてるんだと思うんですけども、下の方は余計な負荷の切り離しをしているっていうそんな説明だったと思うんですけども。
0:26:38	ちょっとその辺、ご質問の趣旨踏まえて整理して説明してもらえますか。
0:26:48	北電イシカワですけど話しづらい増電力イチノセ木です。
0:26:52	運転員AのメタクラB系準備に関しましては、中央操作での

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:59	自動起動する保険に関して自動起動防止処置を
0:27:04	実施しています。
0:27:08	続きまして災害対策よ、運天委員。
0:27:13	災害対策要員 A B に関しましては、現場で、
0:27:19	B I I コントロールセンターの
0:27:22	必要な負担に関しまして切り離し操作を実施しております。
0:27:26	ですので、作業は違う作業を実施しております。以上です。
0:27:36	メールで大体わかってきたんでここに、これあれですかね S A の資料から抜き出したのでこの操作手順の②の A とか 4 の絵っていうところを、
0:27:48	指してるものは、
0:27:50	これついてないんですかね。
0:27:52	ついてます。
0:27:55	北海道電力ツツミツアー。はい、おっしゃる通りでしてこちらの表自体は、
0:28:00	新野側からも持ってきておりましたこの操作手順、
0:28:04	の表に書いてある、②ですとか、0040 ですとか、チラーの説明についてはこちらの十四条の資料としてはございません。
0:28:14	メタ苦労なるほど。
0:28:18	そこだから余計この操作手順のところと、この牛、先ほど言われたため、メタクラとか M G C とかその、
0:28:26	位置関係が別なんだよね多分ね。
0:28:29	多分だからその、
0:28:30	この 14 条の 68 で支えている高圧側低圧側にそれすらあると思うんだけど、
0:28:36	これのそれぞれの場所によって、対応を現場でやられてるっていうそういう理解ですかね。
0:28:45	はい。北海道電力堤ですはい、ご認識の通りです。
0:29:07	規制庁の平本です。今のこのタイムチャートでちょっと教えていただきたいんですけども、
0:29:13	運転 B 棟、それから災害対策要員、A B は作業している場所は、どこなんでしょうか。
0:29:28	北海道電力内野関です。運転員 b と災害対策要員に関しましては、現場の安全補機開閉器室になります。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:40	規制庁平本です。安全補機開閉器室にメタクラとコントロールセンターと両方とも設置されてるってことですかね。
0:29:50	北海道電力市野関です。ご認識の通りです。以上です。
0:29:55	それから規制庁平本です。
0:29:57	衛藤先ほど
0:30:00	この40分というのが、そこそこそこだと、というようなご説明で、
0:30:06	島根の
0:30:09	2号で、
0:30:11	もう、
0:30:13	最初にAとD系が40分だと。
0:30:16	いうふうなことでしたけども、
0:30:18	イワマに十分
0:30:20	おおいに比べたら、その泊さんの場合は、
0:30:25	15分と40分で、かなり長くなってると思うんですけども、これは主にどういう要因で、
0:30:33	長くなってるんでしょうか。
0:30:39	泊発電所からイトウ電カスズキお願いします。
0:30:44	北海道電力市野関です。
0:30:47	大井さん用号炉20分に関しましては、非常用高圧母線母線の受電完了時間となっております、
0:30:59	あまりの15分に関しては、
0:31:03	非常用高圧母線へ片瀬の受電を示しておりますちょっと、
0:31:09	ラップな。
0:31:16	少々お待ちください。
0:31:43	北海道電力市野関です。
0:31:47	50、
0:31:48	大井に関しましては非常用高圧母線への受電まで示しております、泊の55分に関しましては、コントロールセンターの下流、
0:31:59	で、受電する時間を示しておりますので、操作対象が違いますので、時間が違っております。以上です。
0:32:08	規制庁の平本です。
0:32:10	ちょっと今話ですけども、
0:32:14	十四条の65ページにある第1図のタイムチャートのことなんですけども、
0:32:22	このためチャートだと、メタクラのA系の受電にかかるまで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:28	40分B系が15分で、ウエキが40分ということで、メタクラ両方線、受電するのに40分かかると。
0:32:37	いうことになってましてそれと大井の、
0:32:40	メタクラに5020分は十分違うかなということで、このお聞きしたんですけども、そこはどうなんでしょう。
0:33:06	北海道電力の山本でございます。ただいまご指摘いただきました
0:33:12	30分ですとかこちらで申し上げますと45分という時間がございませぬけれども、こちらにつきましては各S Aの条文でございませぬ必要な負荷、
0:33:23	それらに電源を供給するまでの時間というものにつきまして有効性評価ですとか技術的能力、あと他条文の方のヒアリング、審査会合等でご説明させていただいているものと思います。
0:33:37	で、上流の高圧母線に関しまして、受電する時間というのは確かにパッと見一概に違うような感じに見受けられるかもしれませんが、
0:33:49	実際に必要な補機を動かすまでの時間というものにつきましては、それぞれの必要な
0:33:56	負荷に給電する時間ということで別途ご説明を差し上げておりますので、こちらの方でご確認いただいているものと認識してございます。お答えになっておりますでしょうか。
0:34:07	すいません、北海道電力の石川ですけど平本さんおっしゃったのは、単純に北電の石川ですけども、メタクラのA系とB系と2、2系統、投入接続するまでに、
0:34:20	大岩20分ですと、それと、それに対して泊は同じ板井小の接続を考えると40分ですと、倍かかってますその倍になってる主な
0:34:32	理由は何ですかというそういう質問、ご質問、
0:34:37	うん。
0:34:38	ということですよ。事実関係だけ教えてくださいというそういうことなんですよ。
0:34:44	その辺、泊の方がいいか。
0:34:47	すいません。泊から回答できる人いますか。
0:34:58	大道電力イチノセ木です。
0:35:03	後後ではブラボ一高圧母線から受電かけまして、そのまま、非常用、 α の医療用高圧母線は受電せずに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:13	重大事故日程の対象に必要となる、コントロールセンターB系の受電操作を実施していますことから、このように、アルファの高圧母線は、
0:35:23	40分と、ちょっと遅くなった時間になっております。以上です。
0:35:34	北海道電力、ツツミでちょっと補足させていただきますと、
0:35:39	江藤間野。
0:35:41	まずムタクラタの高圧母線ですねこちらのB系をいたしまして、そのあとA系を生かす前に、コントロールセンターB系、事前操作というのが泊の場合は行ってございます。
0:35:52	こちらにコントロールセンターB系の負荷として、B-2圧空気浄化ファンというのがございまして、こちらを優先して生かしたいということからこのコントロールセンターを入れる手順との間に挟まっていると。
0:36:05	そのあとに、メタクラ液位を生かすという手順となっておりまして、このような時間の差ができていますと、ということ。
0:36:11	はい。でございます。以上です。
0:36:56	すいません北海道電力石川ですけれども、ちょっと今、後、ご質問等、
0:37:02	答えが一部すれ違った状態になっていて、こちらの方では、疑問点が解消されてない状況です。今の説明を総合すると、
0:37:14	江藤泊の場合は、メタクラBを入れてからAを入れる間に、コントロールセンターBの受電操作ってのが入りますんで、
0:37:24	その点、大井よりも長くかかりますっていうそんな説明をされたと思うんですけども、それだとこのタイムチャート上は、5分間の差しか出ないはずであって、
0:37:35	あと15分、ちょっと説明がつかんなどそんな話になってるんですけども、
0:37:40	本店でもサイトでも、質問の趣旨等わかって、伝わってますかね。
0:37:49	ちょっと離れるとなかなか伝わりにくいもんだなと思うんですけど。
0:37:53	ご質問の趣旨は、スターといいますかねメタクラ美瑛2系統を接続するのに、
0:38:00	大岩20分、泊は40分、ここはまず事実関係としてこちらは、認識あってですね、ご質問は、その訳の要因は何ですか。例えば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:13	距離離れてるところに行くんですけどか、あと、操作する手順がこうこうこういうものがあるんで多いより多いんですけどか、
0:38:21	まず比較のフェーズが合ってるかどうかっていうのは、比較のフェーズは合ってる。
0:38:28	とか、あとそれからフェーズが合ってるのとその違いは、の要因は何ですかっていうところでちょっと答えていただければなと思うんですけど。
0:38:36	どうですか泊の方。
0:38:38	これ泊に聞いてっけど止まりでいいのか。
0:38:41	はい。
0:38:56	北海道電力西川ですけどちょっと今内部で話をしますんで、マイク聞きます。
0:39:54	原子炉規制庁宮本ですけど、多分ですけど比較を明確にしとかなないと、多分こう話が整理違うと思うので、
0:40:03	大井が20分って言うところが、今ちょっとよくわかりませんが、高圧母線低圧母線を含めた時間であったり、その%コントロールセンターまでの話なのかそれともコントロールセンターまでの話なのかっていうところが、
0:40:16	全体の比較になっているかどうかちょっとわからないので、その辺の内情をよく確認した上で、
0:40:25	検層の差をどういうふうに事業者として考える要はその距離の問題なのか、設備の構造的に少し時間がかかる、遮断器なのかとか、いろいろあると思うんですけど、
0:40:38	その辺の違いがわかる方がいいと思いますのでそこは整理してもらえますかね。
0:40:46	はい。北海道電力堤です。はい。改めて整理の上ご説明させていただきます。
0:40:56	はい。他ないですかね。
0:40:59	ですね、ちょっと私の方で、
0:41:13	あえて規制庁ミヤモトですけどこれちょっと、
0:41:18	この
0:41:19	全交流の方でやるかどうかっていうあれもあるんですけど
0:41:22	要はここで言ってさっき言った話、一緒になっちゃうんですけどメタクラ、
0:41:26	等、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:28	パワーセンター%コントロールセンターとか、コントロール要素の、
0:41:32	十四条の 68 みたいはずっと全体系統があると思うんだけど、
0:41:38	70 でもいいと思うんだけど、
0:41:40	そのの、それを、要は段階ごとに示した方がいいかなと思っていて、
0:41:46	私が言ってることわかります要はパワーコントロールセンターがどこまでメタクラがどこまでって要は一番上のメタクラだったりするわけですよ。
0:41:53	それが、多分図だとメタクラって表現がないので、
0:41:57	このなんつうか、タイムチャートのところの表現とこの図が一致しなかった、一致しなかったというか見てるところが違っちゃうとまずいので、
0:42:09	そこがわかるように、図をつけてもらった方がいいかもしれないですね。
0:42:14	いいですかね。
0:42:17	はい、北海道電力、堤です。こちらの手順とですね、図で整合がとれるようなものをお付けしたいと思います。以上です。
0:42:27	はい。わかりました
0:42:30	今のところ十四条でやるか、S A 電源でやるかっていうところもあると思うんですけど両方つけてもらってもそれで構わないですしヒアリングは多分 1 回でいいと思うんだけど、
0:42:40	資料は、どっちかに、どっちかつうか両方つけて、どっちかのヒアリング 1 回でっていうので構わないと思うので、そこはやってください。
0:42:49	いいですかねそう。はい。北海道電力堤です。承知しました。
0:42:53	それとちょっとあともう 1 件だけ私、ちょっと確認があって、
0:42:57	10、まとめ資料の十四条の 25 ページからが、要はその
0:43:02	非常用直流電源設備電源供給する設備というふうにしてずっときてるんだけど、この中でですね。
0:43:11	要は電源の負荷を切り離すって言うのはこっからのまず入ってないやつが嘘そういう理解でいいですよ入ってないっていうかその緑、緑とピンクがついてないところは
0:43:22	直流には期待しませんよってそういうことですよ。切り離しますよってことです。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:26	はい。
0:43:27	北海道電カツツミず、はい。おっしゃる通りでして、緑ピンクになっていないものは作りに期待しないというものでございます。また緑、ピンクになっているものも各時間が書いてあるものは、その時間以降は期待しないというものでございます。
0:43:40	はい。で、それでちょっと私確認したかったのは、十四条の26ページのところの、
0:43:46	原子炉圧力バウンダリーの漏えい監視Cが2種類あるんだけどこれ、両方A系しかないんでしょう。
0:43:55	はい。北海道電力清水はいこちらはですねA系側にしかアノ。
0:43:59	ないものでございます。
0:44:02	もともとA系しかついて、B系はないんですかこれ。
0:44:44	要は、もともとのつくりはA系の日と、
0:44:49	B系には繋がってないっていうのはそもそもページ設計がそうになって、なので形しかないっていうそういうことですか。
0:44:56	はい。北海道電力清水はいご認識の通りです。
0:44:59	はい、わかりました。私から以上です。
0:45:05	はい。他会議室、またはウェブから何か追加の確認ありますでしょうか。
0:45:12	はい。ないようですのでこちらからの確認は以上となります。事業者側から何か。
0:45:19	確認事項とありますでしょうか。
0:45:23	はい。北海道電力、堤です。北海道根井からはございません。以上です。
0:45:29	承知しました。それではこれでヒアリングの方ありたいと思います。ありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。